

まったく新しいプログラミングの絵本!!

プログラムすごく アベベのぼうけん おどろきの 上巻

佐藤雅彦／石澤太祥／貝塚智子・さく
 ダイスケ・ホンゴリアン・え

『アベベのぼうけん』は、プログラムによってできている、まったく新しい形式の物語です。

プログラムを丹念に読み解き、すぐろくのようなマスの上を旅する主人公、アベベを動かしていくと、そこに驚きの物語が現れます。

こうして夢中になってプログラムを読み解いていくうちに、手順やルールを筋道立てて考える力、つまり「プログラミング的思考」が自然と養われます。

「プログラミング教育」が必修化される小学生のみならずはもちろんのこと、大学生や、お父さん・お母さんなど大人のみならずにもぜひ手にとってプログラミング的思考を体得してもらいたい!

「プログラミング的思考って、こんなにわくわくするものだったのか!」と新たな気持ちになること間違いなしです。



9月26日発売
 定価: 本体1,500円 + 税
 AB判 / 80ページ
 ISBN978-4-09-725028-9

◆佐藤雅彦(さとう・まさひこ)

慶應義塾大学教授を経て、現在、東京藝術大学大学院映像研究科教授。著書に『経済ってそういうことだったのか会議』、『考えの整頓』、『新しい分り方』など多数。ゲームソフト[L.Q.]や、NHK Eテレ『ピタゴラスイッチ』、『0655 / 2355』の企画・監修やカンヌ短編映画プロジェクトなど、分野を超えた独自の表現活動を行っている。

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09725028>

「声に出して読みたいくなる」圧巻の書き下ろし小説!

アンジユと頭獅王

吉田修一・著

吉田修一の新境地ともいえる古典工
 ンターテインメント、ここに誕生! 名
 作『山椒太夫』をベースに、慈悲の心の
 尊さとはいかに、を現代に問う問題作
 です。

誰もが知っているあの安寿と厨子王
 が千年の時空を超えて繰り広げる大冒
 険。文字を追うごとに、思わず声に出
 して読みたいくなる美しい言葉とリズム
 は圧巻そのものです。

「人の幸せに隔てがあつてはならぬ。
 慈悲の心を失つては人ではないぞ」
 太宰府に流謫された父の信条を胸に刻
 む頭獅王は、邪見なる山椒太夫と息子・
 三郎に姉アンジユを責め殺され、執拗
 な追っ手から逃れ逃れて時空を超え、
 やがて令和の新宿へたどり着く。再び
 親子と対峙した頭獅王は、慈悲の心を
 果たして失わずにいられるのか――。
 ヒグチユウコ氏描き下ろしの装画に
 期待がいつそう膨らみます。



9月30日発売
 定価: 本体1,200円 + 税
 四六判 / 130ページ
 ISBN978-4-09-386550-0

◆吉田修一(よしだ・しゅういち)

長崎県生まれ。1997年に『最後の息子』で文壇新人賞を受賞し、デビュー。芥川賞をはじめ多くの文学賞を獲得。直近では2019年『国宝』で第69回芸術選奨文部科学大臣賞と第14回中央公論文芸賞を受賞。作品は英語、仏語、中国語、韓国語などにも翻訳されている。映像化多数。

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386550>

安倍政権「愚策」研究から日本を再起動。戦略まで

「国家の衰退」から いかに脱するか 大前研一・著

「平成維新」提唱者にして、各国の国
 家アドバイザーを歴任した著者による
 刮目の21世紀国家論。

「歴代最長」となる安倍首相の長期政
 権下で、いったいどんな政策が行なわ
 れてきたのか?

「消費増税」「サラリーマン増税」「働き
 方改革」「異次元金融緩和」「マイナバ
 ー制度」「ふるさと納税」「成人年齢引き
 下げ」……。これらはいずれも日本を
 衰退させる愚策であり、劣化する政
 治の象徴だと大前氏は断じる。

一方で、こうした劣化は日本だけ
 の問題ではない。アメリカ・トランプ政
 権や中国・習近平政権、韓国・文在寅政
 権など、「自国第一主義」に嵌った近隣
 の国々でも「国家の衰退」が進んでいる。
 このまま国と一緒に沈むのか、それ
 とも世界の富とつながるのか――。
 「繁栄の方程式」から導く日本を再起
 動戦略。



10月1日発売
 定価: 本体1,500円 + 税
 四六判 / 258ページ
 ISBN978-4-09-380112-6

◆大前研一(おおまえ・けんいち)

1943年、福岡県生まれ。マッキンゼー・アンド・カンパニー本社ディレクターなどを歴任後、大企業の経営コンサル
 タントや各国の国家アドバイザーとして活躍。現在、ビジネス・ブレークスルー(BBT)代表取締役会長、BBT大
 学学長。『知の衰退』からいかに脱出するか?』『50代からの「稼ぐ力」』など著書多数。

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09380112>



10月2日発売
定価：本体1,800円+税
四六判/292ページ
ISBN978-4-09-388725-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388725>

◆島地勝彦(しまじ・かつひこ)

1941年、東京都生まれ。元「週刊プレイボーイ」編集長、「PLAYBOY日本版」編集長、集英社取締役、集英社インターナショナル代表取締役社長を歴任。昭和の大家作家、今東光、柴田錬三郎、開高健の担当者として知られる。2007年より作家活動に入る。2012年より、伊勢丹新宿本店メンズ館内にセレクトショップ「サロン・ド・シマジ」をオープン、好調な売り上げで話題を集める。

これぞ決定版！ お洒落極道の奥義を極める一冊
お洒落極道・最終編
島地勝彦・著

40代、50代の男性を中心に熱狂的ファンを抱える作家、島地勝彦氏の『MEN'S PRECIOUS』誌上での連載、『お洒落極道』が2019年夏号で完結。2014年に発行した単行本『お洒落極道』に続き、第2弾を「最終編」として上梓する。NHKのドラマ「全身編集長」でも話題を集め、伊勢丹内セレクトショップ「サロン・ド・シマジ」店長として熱狂的ファン層を抱える島地氏の、男の嗜みを綴ったエッセイ本。

本編に加え、帝国ニュースで連載された「痛快！ 社長交遊録」(平岩外四、藤巻幸夫、茂登山長市郎他、一流経営者が登場)、高級時計専門誌「オルロジューリー」に連載された愛すべき時計の物語なども収録。お洒落はもとより、酒葉巻、食、時計に至るまで、男が憧れる全てを体現したシマジワールドをこの一冊に収録。

口絵及び各章扉は、立木義浩氏撮影。



10月9日発売
定価：(各)本体980円+税
A5判/(各)160ページ
ISBN978-4-09-296684-0 (1 恐竜発見)
ISBN978-4-09-296685-7 (2 古墳誕生)
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09296684> (1 恐竜発見), [09296685](https://www.shogakukan.co.jp/books/09296685) (2 古墳誕生)

◆青山剛昌(あおやま・ごうしょう)

『名探偵コナン』、『YAIBA』で、小学館漫画賞受賞。『名探偵コナン』は発行部数が2億冊を突破。

日本史探偵コナン続編！ 歴史冒険の新たな幕が上がる！
日本史探偵コナン シーズンII
1 恐竜発見 悠久の前世紀
2 古墳誕生 誓いの双翼

青山剛昌・原作 / 山崎栄一・まんが (1 恐竜発見) / 粕枝和生・まんが (2 古墳誕生)

名探偵コナンがナビゲートする歴史まんが『日本史探偵コナン』。青山剛昌先生原作で全12巻完結から一年、早くも累計117万部を突破し大好評を博している大人気シリーズの第2幕がいよいよ始まります。待望の新シリーズ名は『日本史探偵コナン・シーズンII(ツ)』。前作『日本史探偵コナン』でコナンと少年探偵団達は、過去へと飛ばされた子ども達「時の漂流者」タイムドリフター」とともに、時のイシを探し求めました。怪盗キッドに操られた謎の怪人「怪盗ウルフ」の妨害やさまざまな歴史上の難事件を乗り越えた彼らのもとに、また新たな挑戦状が届きます！日本の歴史として初めて扱う恐竜時代、そして江戸川乱歩とコナンの対決が見物の大正時代と盛りだくさんの全6巻。



10月15日発売
定価：本体1,700円+税
四六判/256ページ
ISBN978-4-09-388731-1
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388731>

◆竹内正浩(たけうち・まさひろ)

1963年、愛知県生まれ。文筆家、歴史探訪家。地図や鉄道、街歩き、近代史研究をライフワークとする。著書に『地図と愉しむ東京歴史散歩』シリーズ(中公新書)、『写真と地図でめぐる軍都・東京』(NHK出版)、『天皇の旅と寄り道』(KKベストセラーズ)、『旅する天皇』(小学館)など多数。

古地図と独自資料で迫る、誰も知らない皇居
最後の秘境 皇居の歩き方
竹内正浩・著

江戸城築城からおよそ600年——徳川将軍家の居城として、江戸文化の中心地として、明治維新の舞台として、太平洋戦争時の大本営として、戦後日本の歩みを見守る象徴として、この地は日本の歴史の中心でした。深いお濠と神秘的な森に囲まれた皇居、まさに「日本最後の秘境」に、歴史探訪家の竹内正浩氏が迫ります。本書では、皇居を5つのパート「皇居東御苑」「皇居外苑(皇居前広場)」「宮殿・宮内庁(西の丸)」「吹上御苑」「北の丸」に分け、それぞれの建築物や遺構が持つ歴史や由来を解き明かします。さらに、まだ誰も目にしたことがない「皇居詳細地図」を収録。いくつかの建築物や遺構の存在や場所は、本邦初公開です。〈天守台はもう2m高かった〉(徳川家は富士見櫓から花火を見た)〈昭和天皇も「うるさい」と嘆いた午砲台跡」ほか、皇居の秘密が満載です。



10月16日発売
 定価: 本体1,300円 + 税
 四六判 / 194ページ
 ISBN978-4-09-386548-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386548>

◆アッシュ・スミス

1968年、東京都生まれ。本作がデビュー作となる。

千葉県西部で通り魔事件が発生、被疑者と思しき女性はその場で取り押さえられた。
 月刊誌「ディケイド」で事件・事故を中心に活動するライター永野昭一は、ふとした契機で、逮捕された女性・中内潤子が、取材対応用などに設けている自分の公開アドレスに不可思議なメールを送り付けていたことに気づく。「ガイアトライブに殺されます」。それは、マルチ商法が疑われている自然食品などを扱う会社を名指して呪詛するような内容のものだった。
 永野は、事件との関りを追い始めるが……。

すべては、謎の一通のメールから始まった。
千葉の殺人
 アッシュ・スミス・著



10月16日発売
 定価: 本体1,500円 + 税
 四六判 / 256ページ
 ISBN978-4-09-388719-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388719>

◆柳川悠二(やながわ・ゆうじ)

1976年、宮崎県生まれ。ノンフィクションライター。大学在学中からスポーツ取材を開始し、高校野球の取材は2005年から。以降、春夏の甲子園取材をライフワークとする。『永遠のPL学園 六〇年目のゲームセット』で第23回小学館ノンフィクション大賞を受賞。

高校3年生にして球速163kmを記録した「令和の怪物」こと大船渡高校の佐々木朗希。しかし、甲子園出場が懸かった岩手大会決勝では連投による故障を避けるため、監督が「佐々木に投げさせない」という決断を下し、チームは大差で敗れた。この騒動をきっかけに、「球数制限」をはじめとする球児の負担軽減策の議論が沸騰。直後の夏の甲子園では、ほとんどの高校が「継投」で勝ち上がるようになった。実は、数年前から高校野球の現場には「ひとりのエース」に頼らないチーム作りが進められるようになっていた。投げない怪物、佐々木の登場でその流れが加速している。指導者、選手、OBらの証言から、新時代の高校野球がどこへ向かうのかを描き出す。

江川卓や松坂大輔のような絶対的エースは、もう生まれない
投げない怪物
 佐々木朗希と高校野球の新時代
 柳川悠二・著



10月17日発売
 定価: 本体1,300円 + 税
 四六判 / 232ページ
 ISBN978-4-09-386556-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386556>

◆鈴木りか(すずき・りか)

2003年、東京都生まれ。小学四年、五年、六年時に三年連続で、小学館主催「12歳の文学賞」大賞を受賞。2017年10月、14歳の誕生日に『さよなら、田中さん』で小説家としてデビュー。10万部を超えるベストセラーに。韓国、台湾でも翻訳される。2018年10月、地方の中学校を舞台にした短編集「14歳、明日の時間割」を刊行。韓国でも翻訳される。現在、都内の私立女子高校一年生在学中。

文学界を騒然とさせた現役中学生作家デビューから2年。今やベストセラー作家となった鈴木りかさんが高校生となり、初めて書き下ろした中短編集小説全3編。新人のデビュー作としては十萬部を超える異例の大ヒットとなった『さよなら、田中さん』で大人気の、あの田中母娘が帰ってきた！しかし、単なる「続編」とはせず、ひとつの新しい文芸作品として意欲的に取り組んだ一作。前作で強い印象を残した登場人物達がさらに謎とドラマ、嵐を呼ぶ!!
 田中花実が中学生となった。お母さんとは相変わらずピンポンながら大食い大笑いの日々。そんな母娘の前に次々登場する謎めいた人物が引き起こす大騒動。一つ一つの事件に込められた人々の思い、苦しみ、葛藤。笑って笑ってホロっと泣かせる生きることへの希望を説く「りか節」が胸に響きます!!

文学界大注目の新高校生作家、待望の新刊!
太陽はひとりぼっち
 鈴木りか・著



10月23日発売
 定価: 本体1,700円 + 税
 四六判 / 384ページ
 ISBN978-4-09-388702-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388702>

『逆説の世界史』は、歴史ノンフィクションの金字塔『逆説の日本史』の著者による新たなライフワーク。構想15年の本シリーズは、民族・宗教・イデオロギーによる偏見や差別を極力排し、世界史を「地球人の視点」で読み解く文明論です。

待望の第3弾は「多神教文明の興亡」がテーマ。ギリシア神話の神々がキリスト教に撲滅されたように、多神教文明は「強い一神教」に駆逐されるのが世界史の大原則。ところが、日本とインドには、一神教に負けない「強い多神教」がある。その強さの根源にあるものは……!?

古代ギリシアにおけるオリュンポスの神々の神話から、古代インドで「完全なる死」を求めて誕生したヒンドゥー教と仏教まで、著者が聖地を訪れながら、その謎に迫ります。

◆井沢元彦(いざわ・もとひこ)

作家。1954年、愛知県名古屋市生まれ。早稲田大学法学部卒業。TBS報道局記者時代の'80年、『猿丸幻視行』で江戸川乱歩賞を受賞。『逆説の日本史』シリーズの他に、『日本史真髓』『天皇になろうとした將軍』など著書多数。小学館のウェブサイト[P+D MAGAZINE]で『コミック版 逆説の日本史』を大反響連載中!!

英雄「ヘラクレス」はなぜキリスト教に敗北したのか
逆説の世界史 3
 ギリシア神話と多神教文明の衝突
 井沢元彦・著



10月23日発売
 定価: 本体2,400円 + 税
 A4判 / 144ページ
 ISBN978-4-09-682314-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682314>

幻の名画《築地明石町》ほか23点を原寸で
100% Kiyokata!
 鶴見香織・著 / 監修

鏑木清方の代表作にして近代美人画の最高傑作ともいわれる《築地明石町》。本作と《新富町》《浜町河岸》の「三部作」が44年ぶりに再発見され、東京国立近代美術館に収蔵されました。11月1日から同館でお披露目の展覧会が行なわれます。本書は、この《築地明石町》をはじめとする同館所蔵の清方作品23点をすべて原寸で紹介。清方の作品の魅力である美しく繊細な筆致を存分に味わえる、これまでにない作品集です。

この本のために、掲載する全作品を新たに撮影。上質な画像によって、《築地明石町》をはじめとする美人画の、生え際や後れ毛の描写や細かく描き込まれた着物の柄などを、原寸大でじっくり楽しむことができます。

多くの美術ファンが公開を待ち望む《築地明石町》などの清方の名作を深く知り、展覧会をより楽しく鑑賞するための手引きとしてもお薦めです。

◆鶴見香織(つるみ・かおり)

東京国立近代美術館主任研究員。東京藝術大学美術学部芸術学科卒業。専門は日本近代美術史。1993年より群馬県立近代美術館に勤務。2006年より現職。日本画作品の収集や展覧会を担当。共著書に「もっと知りたい」シリーズ(東京美術)の「東山魁夷」「速水御舟」「菱田春草」など。



クスッと笑えるネコのやらかしコミック

うちのネコ「やらかし図鑑」

上田惣子・著

飼い猫歴30年。現在4匹の猫たちと暮らす著者が、家の中で毎日勃発するネコたちによる「やらかしネタ」を行動別にまとめた、ネコあるあるコミック。



9月26日発売
 定価：[本体1,000円] + 税
 A5判 / 160ページ
 ISBN978-4-09-388714-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388714>

こどもに大人気！ 累計80万部名画シリーズ

小学館あーとぶっく 広重の絵本 遠くへてくてく

北斎の絵本 富士山みえた〜!!

結城昌子・著

こどもがはじめてアートの触れる「小学館あーとぶっく」シリーズ、待望の日本名画編。広重の「東海道五十三次」、北斎の「富嶽三十六景」を遊ぶ絵本です。こどもの可能性を伸ばすヒントがいっぱい！



10月2日発売
 定価：(各) [本体1,500円] + 税
 AB5判 / (各) 32ページ
 ISBN978-4-09-727707-1 (広重)
 ISBN978-4-09-727708-8 (北斎)
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09727707> (広重)
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09727708> (北斎)

日常がちよっぴり楽しくなるホムパのすすめ

ツレツレハナコのホムパ. においでよ!

ツレツレハナコ・著

取り寄せ鍋宴会、円盤餃子パーティー、トルコ宴会……超ビギナーからしっかり作りたい人向けまで、ハナコホムパのゴールデンレシピをたっぷり紹介。今夜のごはんにも使える気軽な宴会レシピです。



10月15日発売
 定価：[本体1,200円] + 税
 A5判 / 112ページ
 ISBN978-4-09-310895-9
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310895>

大好きなエビちゃん、メモリアル写真集

YURI EBIHARA 2002-2019 THE DAYS

蛭原友里・著 / モデル

モデル・蛭原友里40歳を記念して、膨大なアーカイブから本人とファンが選んだ写真を収録したフォトクロニクルを刊行。「かわいい」ブームをけん引した「エビちゃん」の名場面を網羅したメモリアルな一冊です。



10月1日発売
 定価：(各) [本体3,200円] + 税
 四六倍判 / (各) 224ページ
 ISBN978-4-09-682309-5 (通常版)
 ISBN978-4-09-682310-1 (Premium edition)
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682309> (通常版)
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682310> (Premium edition)

42種のりんごが集合！ りんごを愛でる図鑑

りんごだんめん図鑑

わたなべまこ@豊洲市場ドットコム・著

みんなが大好きな果物の断断面図鑑、第2弾。日本に出回る多くのりんごのなかから、主な品種42種の外観と断面写真を集めました。懐かしい品種から、これからの担う新品種までが勢ぞろい。巻末には、食感と甘酸を一覧できる分布図付き。



10月10日発売
 定価：[本体900円] + 税
 A24取 / 48ページ
 ISBN978-4-09-725022-7
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09725022>

この10品で、もう献立に迷わない！

ただいまから30分までできる！ 10品あればいいものごはんは、きほんの10品あればいい

寿木けい・著

フォロワー11万人！ Twitterで大人気きょうの140字「ごはん」が書籍化。二人の手持ち、働く母の、今夜の献立に迷わないためのシンプルレシピ集。基本の10レシピを軸にアレンジ全200レシピを公開。



10月16日発売
 定価：[本体1,400円] + 税
 四六判 / 160ページ
 ISBN978-4-09-310633-7
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310633>



10月23日発売
 定価：本体1,400円＋税
 四六判／192ページ
 ISBN978-4-09-310546-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310546>

井上亜依・著
フレーズ活用英語塾
 —世界で活躍できる人材になる—

会話はフレーズで成り立っていると著者の英語定型表現研究に基づき、時事的でホットな対話例を素材に、キーフレーズ、覚えておきたい表現を実践的に学ぶ学習本。音声はダウンロード。英語&キーワード索引つき。

フレーズに注目！ 英語力アップの実践学習本



10月17日発売
 定価：本体1,400円＋税
 B5判／96ページ
 ISBN978-4-09-103745-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09103745>

大人版・新「リタ・ベーシック」秋冬スタイル
 小学館セレクトムック
 大人のリタ・ベーシック、色褪せないタイムレスシック——
RITA'S STANDARD
 スタイルリスト高橋リタのシンプル&洗練ルール秋冬
 高橋リタ・著

スタイリスト高橋リタが、女性誌Ogg—冠連載「リタ・ベーシック」で表現してきた上品な、きれいなカジュアルを、40代超えの大人の女性向けに、この秋冬のコーディネートとして提案し、着回し方を解説します。



10月16日発売
 定価：本体1,800円＋税
 四六判／208ページ
 ISBN978-4-7979-8125-4

永見陶節・著
女龍陶芸家
 龍に導かれた作陶一代記

誰にも弟子入りすることなく、独学で進んだ陶芸の道で、原始縄文の息吹を蘇らせたオリジナルの技法「古編文(こあみもん)」を編み出す。やがて富士山に拠点を移してのち、そこに現れた「龍」に導かれ、「龍水琴」「円環龍」など、龍をモチーフにした独自の作品を極めしていく。躍動し続ける一人の女性が「女流(にょりゅう)陶芸家」となるまでの陶芸人生を綴った、奇跡の物語。

小学館スクウェアの本
 発行元 小学館スクウェア

別れる理由4 小島信夫・著

康彦の担任女教師・野上と主人公・前田永造が交わると、永造は突如として馬となり、トロイ戦争について議論を始める。時間の流れも、舞台がどこなのかも判然としないカオスの極みを描く、鬼才小島信夫の真骨頂。

定価：本体650円＋税 B6判／416ページ
 ISBN978-4-09-352377-6
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352376>

10月10日発売・配信(ペーパーバックとデジタルで同時、同価格)
<https://pbooks.jp>

津田梅子 大庭みな子・著

女子教育の近代化に生涯を捧げた津田梅子。梅子が米國留学時の里親に綴った、伊藤博文一家との交流や女子教育にかける熱意などの肉声を、芥川賞作家・大庭みな子が自らの渡米経験も踏まえて読み解いた傑作評伝。

定価：本体550円＋税 B6判／304ページ
 ISBN978-4-09-352376-9
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352376>

いっだって、僕らは本と生きてきた。
 [P+D BOOKS] 今月のラインナップ



小学館新書

脳が若返る最高の睡眠
 寝不足は認知症の最大リスク
 加藤俊徳・著

なかなか寝付けない、中途覚醒など睡眠に悩みを持つ日本人は2000万人とも推計されており、先進国の中でも最も睡眠時間が少ない。寝不足によって認知症をはじめ、糖尿病やうつ病などを誘発し、がんも悪化させる。睡眠は、心身の疲労回復をもたらすとともに、記憶を定着させる、免疫機能を強化するといった役割もあるからこそ疎かにしてはいけない。本書は数多の睡眠本とは違い、脳研究の第一人者が「脳」という視点からアプローチし、睡眠問題を解決に導く。



10月3日発売
 定価: 本体820円 + 税
 新書判 / 224ページ
 ISBN978-4-09-825347-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825347>

小学館新書

もっとさいはての中国
 安田峰俊・著

中国本土14億人。世界の華人6000万人。中国人観光客1.5億人。分け入っても分け入っても中国人はそこにいる——。では彼らはその地に何をもちたか。大宅賞作家がもっと分け入る！
 アフリカど真ん中に出現した「紅い帝国」——ルワンダ・キガリ／中華鉄道で味わうサバンナ紀行——ケニア・ナイロビ／秘密結社チャイニーズ・フリーメイソンを直撃！——カナダ・バンクーバー／国際指名手配 郭文貴、かく語りき——アメリカ・ニューヨークほか弾丸ルポルターージュ7連発！



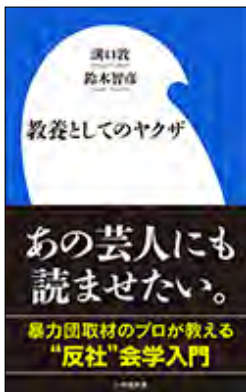
10月3日発売
 定価: 本体840円 + 税
 新書判 / 288ページ
 ISBN978-4-09-825355-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825355>

小学館新書

教養としてのヤクザ
 溝口敦／鈴木智彦・著

吉本間営業問題で分かったことは、今の日本人はあまりにも「反社会的勢力」に対する理解が浅いということだ。反社とは何か、暴力団とは何か、ヤクザとは何か。彼らと社会とのさまざまな接点を通じて、「教養としてのヤクザ」を学んでいく。テーマは、「ヤクザとメディア」「ヤクザと食品」「ヤクザと五輪」「ヤクザと選挙」「ヤクザと教育」「ヤクザと法律」など。その中で、「ヤクザと芸能人の写真は、敵対するヤクザが流す」「タビオカドリンクはヤクザの新たな資金源」「歴代の山口組組長は憲法を熟読している」など、知られざる実態が次々明らかになっていく。暴力団取材に精通した二大ヤクザライターによる集中講義である。



10月3日発売
 定価: 本体800円 + 税
 新書判 / 224ページ
 ISBN978-4-09-825356-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825356>

◆加藤俊徳(かとうとしのり)

1961年、新潟県出身。医学博士。脳内科医。加藤プラチナクリニック院長。昭和大学客員教授。株式会社脳科学代表。発達脳科学MRI脳画像診断認知症などの専門家。昭和大学医学部卒業、同大学大学院修了。1991年に開発した脳活動計測fNIRS法は世界700カ国以上で脳研究に使用されている。1995年から2001年までミネソタ大学放射線科でアルツハイマー病やMRI脳画像法の研究に従事。帰国後は、独自開発した加藤式MRI脳画像法を用いて、1万人以上の診断、治療を行う。著書多数。

◆安田峰俊(やすだたみねとし)

1962年、滋賀県生まれ。ルポライター。立命館大学人文科学研究科客員研究員。立命館大学文学部卒業後、広島大学大学院文学研究科修士課程修了(専攻は中国近現代史)。著書に「さいはての中国(小学館新書)」「和橋」移民軍民遺民(以上角川文庫)、「性と欲望の中国(文春新書)」「暗黒中国」からの脱出(文春新書)など。「八九六四」(KADOKAWA)で城山三郎賞、大宅賞をW受賞。

◆溝口敦(みぞぐちあつし)

1942年、東京都生まれ。早稲田大学政経学部卒業。ノンフィクション作家。「食肉の帝王」で2004年に講談社ノンフィクション賞を受賞。主な著書に「山口組三國志 織田絆」という男など。

◆鈴木智彦(すずきともひこ)

1966年、北海道生まれ。日本大学芸術学部写真学科除籍。ヤクザ専門誌「実話時代」編集部に入社。「実話時代BULL」編集長を務めた後、フリーに。主な著書に「ヤクザと原発」「サカナとヤクザ」など。

小学館新書

てん のう らん にち べい げき とう
天皇論「日米激突」

小林よしのり／ケネス・ルオフ・著

25万部突破のベストセラー『天皇論』の小林よしのりと、『国民の天皇』で大佛次郎論壇賞を受賞し、近著『天皇と日本人』でも論議を巻き起こした米国の近現代天皇制研究の第一人者ケネス・ルオフが、天皇・皇室を巡る問題で大激論！「そもそも神武天皇は実在しない」から始まり、「天皇が韓国に行ったならば」「大嘗祭は国費でやるべきか」「天皇に人権はあるのか」「外国人労働者と天皇」「昭和天皇に戦争責任はあるか」「ハーフの天皇はありか？」などなど、日米の論客がタブー一切なしで語り合った衝撃的『天皇論』。2人の激しい論戦から、新しい時代の天皇と皇室、そして新しい日本のかたちが見えてくる！

◆小林よしのり(こばやしよしのり)

1953年、福岡県生まれ。漫画家。92年スタートの『ゴーマニズム宣言』は新しい社会派漫画として話題となり『天皇論』は累計25万部突破のベストセラーに。近著に『大東亜論』等。

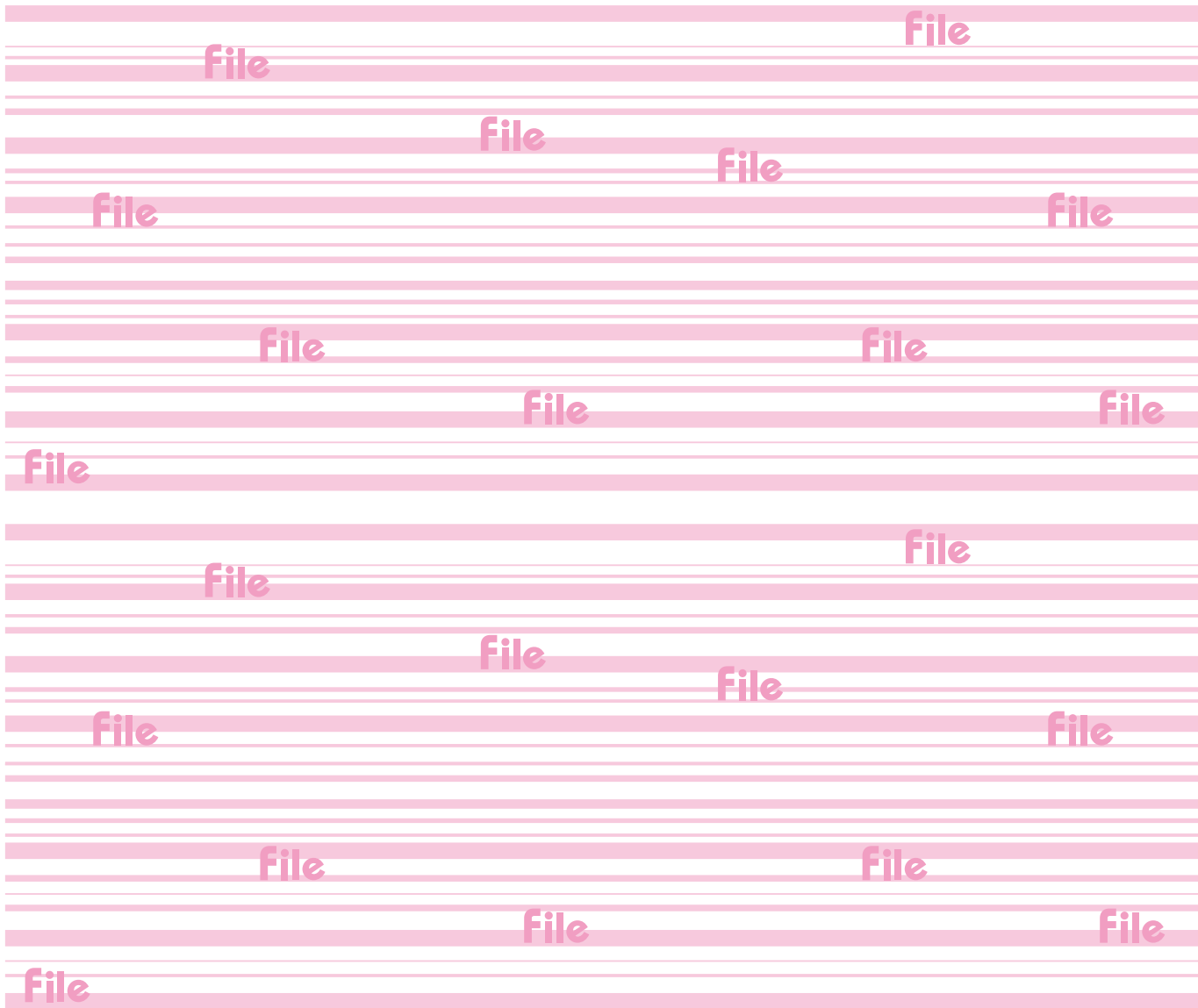
◆ケネス・ルオフ(Kenneth J. Roof)

1966年、米国生まれ。ハーバード大学卒業。コロンビア大学で博士取得。米国における近現代天皇制研究の第一人者。現在、オレゴン州のポートランド州立大学教授。同日本研究センター所長。『国民の天皇』で大佛次郎論壇賞受賞。近著に『天皇と日本人』等。



10月3日発売
 定価：本体840円＋税
 新書判／256ページ
 ISBN978-4-09-825357-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825357>



小学館文庫

ブラック校則

涌井学・著／此元和津也・脚本



◆涌井学(わくい まなぶ)
 多数のノベライズを手がける。「映画
 謎解きはディナーのあとで」「世界か
 らホクが消えたなら」など。
 ◆此元和津也(このもとかつや)
 漫画家。「セトウツミ」が大ヒット。
 本作「ブラック校則」では脚本を手が
 ける。

10月4日発売
 定価：本体580円＋税
 文庫／240ページ
 ISBN978-4-09-406697-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406697>

小学館文庫

4分間のマリーゴールド

桐衣朝子・著／キリエ・原作



◆桐衣朝子(きりえあさこ)
 福岡在住。第13回小学館文庫小説賞
 を受賞。娘は漫画家のキリエ。
 ◆キリエ
 姉妹漫画家。第74回小学館新人コ
 ミック大賞青年部門大賞受賞。

10月4日発売
 定価：本体650円＋税
 文庫／320ページ
 ISBN978-4-09-406698-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406698>

小学館文庫

おたみ海舟恋仲

植松三十里・著



◆植松三十里(うえまつ みどり)
 静岡県生まれ。東京女子大学史学科
 卒業。2003年に桑港にて「歴
 史文学賞」09年に「群青」で新田次郎
 文学賞。「彫残二人」で中山義秀文学
 賞を受賞。「蘭と絆」「西郷と愛加那」
 「からがらす」など著書多数。

10月4日発売
 定価：本体600円＋税
 文庫／272ページ
 ISBN978-4-09-406699-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406699>

小学館文庫

私はスカーレットI

林真理子・著



◆林真理子(はやし まりこ)
 1954年、山梨県生まれ。「最終使
 間に合えば」「京都まで」第94回直
 木賞受賞。著書に「ミカドの淑女」「不
 機嫌な果実」「a tempo」「西郷どん」
 「愉快」など多数。

10月4日発売
 定価：本体600円＋税
 文庫／176ページ
 ISBN978-4-09-406700-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406700>

佐藤勝利(Sexy Zone)高橋海人(King & Prince)出演、「セトウツミ」の此元和津也が脚本を手掛けた、ドラマ・映画・HUU横断「ブラック校則」プロジェクト待望のノベライズ化。クラスの最底辺を生きていた創案(佐藤勝利)と中弥(高橋海人)。ある日、恋するあの子が生まれ持った美しい栗色の髪を黒く染めるよう強要され不登校に。「こんなルールは、もうたくさんだ」……いま2人の男子高校生が立ち上がる！

救急救命士の花巻みこと(24)には、特殊な「能力」があった。手を重ねた人の、最期の姿が視えるのだ。父親の再婚で家族となった義理の姉・沙羅に、みことは特別な想いを寄せている。あるときみことは、沙羅の命があと一年しかないことを知ってしまった。2019年10月よりTBSにてドラマ放送が決定！ みことを福士蒼汰、沙羅を菜々緒が演じる。新聞各賞激賞の原作は、著者の娘でもあるキリエ工作。突然突きつけられる「死」という運命に涙が止まらない、感動のラブストーリー。みことと沙羅の出会いを描いた、警沢なノベライズ作品です。

辰巳芸者のおたみは、呼ばれた席で幼馴染みの勝麟太郎と再会。蘭学を修行中の麟太郎は、おたみに惚れて一緒にやろうと口説いてくる。旗本との結婚など無理な話と諦めていたおたみの所に、麟太郎の父小吉がやってきた。小吉に気に入られおたみのお信にはいい顔をされなかったが、二人は祝言をあげ、溜池のあばら家で新生活が始まったのだが……。蘭和辞典「ツーフ・ハルマ」を高額で借り受けて一年掛けて二部筆写するという作業のため、金もなくなり、天井板をはがして薪代わりに使うようになる貧乏生活が！ 勝海舟夫婦を描く、シリーズ第一作！

《小説「風と共に去りぬ」を読んだことがあるだろうか。私を作家へと導いてくれた小説である。恋あり、三角関係あり、冒険ありと、その面白いことといったらない》(本書まえがきより)世界中で読み継がれるM・ミッチェルの名作を、林真理子が一人称小説として鮮やかにポップに、現代に甦らせた！パリピ気質で男の子にモテることが大好き、わがままで思慮が浅く、まわりの女子ほぼ全員を敵に回す最強ヒロイン・スカーレット。アメリカ南北戦争時代を舞台に、彼女の波瀾万丈な人生が幕を開ける——とにかく最高に面白い、待望の第一巻！

小学館文庫

錯迷
 堂場瞬一・著



◆堂場瞬一(ごうばしゅんいち)
 1963年、茨城県生まれ。青山学院大学卒業。新聞社勤務の傍ら小説を執筆。2000年、『8年』で第十三回すばる新人賞を受賞。主な著書に異境(夏)の雷音など。

10月4日発売
 定価:本体840円+税
 文庫/464ページ
 ISBN978-4-09-406701-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406701>

神奈川県警捜査一課生え抜きエリートの萩原哲郎に突然の異動命令が下された。赴任先は重大事件が希な湘南・鎌倉南署。しかも署長職。実はこの異例人事には密命があった。それは女性前任者の不審死の謎を署長として潜入捜査せよというもの。協力者もなく孤立無援の中、萩原は秘密裏に捜査を始めるが署員達の口は固く容易に進まない。そんな時、管内で殺人事件が発生。それは過去の未解決殺人事件と繋がっていた……。正義を貫くべき警察官たちが頑なに隠蔽していた真実とは一体何なのか。組織トップの孤独と葛藤渦巻く人間模様を描く堂場瞬一警察小説の頂点。

小学館文庫

トヨタミの野望
 梶山三郎・著



◆梶山三郎(かじやまさんざぶろう)
 経済記者、覆面作家。

10月4日発売
 定価:本体850円+税
 文庫/520ページ
 ISBN978-4-09-406702-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406702>

単行本刊行当時、あまりに詳しくすぎる内部情報、関係者しか知らないはずのエピソードが満載だったため、小説を偽装したノンフィクションではないかと噂され、著者の覆面作家梶山三郎の正体を取り沙汰された超問題小説が遂に文庫化! 逆境から這い上がった巨大自動車会社の叩き上げ社長武田剛平と、創業家出身の社長候補豊臣統一、彼らをそれぞれの思惑で取り巻く重役たち。アメリカ自動車産業の圧力、経済の激変と技術革新の嵐の中で、トヨタ自動車は、日本経済は生き残れるのか。思わず深読みしてしまう、企業小説の大傑作。

小学館文庫

夜行
 森見登美彦・著



◆森見登美彦(もりみとみひこ)
 1979年、奈良県生まれ。2000年『太陽の塔』で第15回日本ファンタジーノベル大賞を受賞しデビュー。07年『夜は短し歩けよ乙女』で第20回山本周五郎賞を受賞。

10月4日発売
 定価:本体610円+税
 文庫/304ページ
 ISBN978-4-09-406703-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406703>

十年前、同じ英会話スクールに通う僕たち六人の仲間は、連れだつて鞍馬の火祭を見物にでかけ、その夜、長谷川さんは姿を消した。十年ぶりに皆で火祭に出かけることになったのは、誰ひとり彼女を忘れられなかったからだ。夜は、雨とともに更けてゆき、それぞれが旅先で出会った不思議な出来事を語り始める。尾道、奥飛騨、津軽、天竜峡。僕たちは、全員が道中で岸田道生という銅版画家の描いた「夜行」という連作絵画を目にしていた。その絵は、永遠に続く夜を思わせた……。果たして、長谷川さんに再会できるだろうか。怪談×青春×ファンタジー、かつてない物語。

小学館文庫(キャラバン!)

月と星の還るところ
 紫微国妖夜話
 宮池貴巳・著/由羅カイル・イラスト

紫微国の西の果てにある侶州は「太陽と月が眠るところ」と称される僻地。そんな魑魅魍魎が跋扈する土地へ赴任してきた役人・梁脩徳は根っからの不運体質で、とにかく困った連中ばかり気に入られてしまう……。

定価:本体560円+税 224ページ
 ISBN978-4-09-406692-0
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406692>

浅草ばけもの甘味祓い
 兼業陰陽師だけれど、上司が最強の妖怪だった
 江本マシメサ・著/漣ミサ・イラスト

昼は会社員、夜は浅草の町を守る陰陽師。二つの顔を持つ永野遥香の職場には、ある日新しい係長がやってくる。彼の正体は……:最悪最強の鬼!? 兼業陰陽師と鬼(ホニモン)上司が繰り広げる、危険なラブコメディ!

定価:本体600円+税 256ページ
 ISBN978-4-09-406693-7
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406693>

死神執事のカーテンコール
 時限爆弾の少年
 栗原ちひろ・著/山田シロ・イラスト

霧困気重視で推理は不得意な探偵 猪目空我は、古いお屋敷の一角で探偵事務所を開業。しかし大家のお嬢様と美形執事はワケアリ。自称・エリート死神の執事とともに、猪目はふりかかると難問の解決に乗りだすが……?

定価:本体600円+税 256ページ
 ISBN978-4-09-406694-4
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406694>

10月4日発売 文庫判